

報道機関関係者各位

阿久津弘子未来基金を創設 ～災害時にも連携し合う、次世代へつなぐ～

特定非営利活動法人（認定 NPO 法人）
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク



【概要】

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（略称：JVOAD 代表理事：栗田暢之）は、阿久津弘子様（故人）のご遺志に基づく遺贈寄付を受領し、「阿久津弘子未来基金～災害時にも連携し合う、次世代へつなぐ～」を創設いたしました。

本基金は、阿久津弘子様（2024年5月没、91歳）の遺言に基づき、遺言執行者綱島直輝様を通じてご寄付いただいたものです。阿久津弘子様は、大手毛髪関連サービス企業の創業者である阿久津三郎様の妻であり、社業の発展に多大なる尽力をされました。また、生前より子どもや困難な状況にある方々への支援に深い関心を寄せ、社会貢献活動に積極的に取り組まれてきました。

「未来を担う子どもたちのために、社会をより良くしたい」というご遺志を受け、その想いを未来へつないでいくため、本基金を創設いたしました。

【基金の目的】

「阿久津弘子未来基金」は、災害時に支援の「もれ・むら」をなくすことで必要な支援が必要な人に確実に届き、すべての人が安心して暮らせる社会の実現と、その仕組みを次世代へ継承していくことを目的としています。

【主な活用内容】

本基金は、以下の取り組みに活用してまいります。

- ・災害支援に関わる多様な分野（子ども、障がい者、ペット等）における支援者同士の学びや意見交換の場の創出
- ・各分野の知見を共有し、支援の質を高めるための取り組み
- ・「災害時の連携を考える全国フォーラム」等を通じた発信と共有の機会づくり、これらの取り組みを通じて、平時からの備えを強化し、災害時に切れ目のない支援が実現される社会を目指します。

本基金は、単なる支援にとどまらず、日本の未来を担う子どもたちが、災害に強い社会の中で安心して暮らせるよう、その基盤を育てていくことも重要な目的としています。

【JVOAD について】

災害時に必要な支援を必要な人に届けるための組織です。東日本大震災をきっかけに設立され、全国域の災害支援中間組織として、行政機関、社会福祉協議会、NPO、ボランティア団体など、支援組織同士の連携を促進し、調整や資金・人材の効率的な活用を図ることを目的としています。令和7年6月17日付で、災害対策基本法に基づく「指定公共機関」に、NPO法人として初めて内閣総理大臣から指定を受けました。災害時における支援の「もれ・むら」を防ぎ、効果的な支援体制の構築を推進していくために、災害時には被災地のニーズを把握し、情報を共有すると共に課題を解決し、平時には、復旧・復興に向けた支援策の提言や活動全体の検証も行っています。

名称：特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

所在地：〒100-0002 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 267-B

代表理事：栗田暢之 ホームページ：<http://jvoad.jp/>

【お問合せ先】

E-mail：info@jvoad.jp

電話 080-5961-9213

広報担当：坂田